

(別紙)

様式第1号(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	令和2年度第1回美幌町自治推進委員会
開 催 日 時	令和2年11月5日(木) 18時30分 開会 20時25分 閉会
開 催 場 所	しゃきっとプラザ 集団健診ホール
出 席 者 氏 名	熊崎委員、横山委員、松本委員、坂本委員、山野寺委員、志布委員、横関委員、加藤委員、佐藤委員
欠 席 者 氏 名	佐々木委員
事務局職員職氏名	平野町長、小室総務部長、後藤政策主幹、中村政策担当主査、赤川政策担当
議 題	1 美幌町自治推進委員会について 2 美幌町自治基本条例制定後の現状と課題について 3 令和元年度審議会等の会議の公開に関する運用状況について 4 令和元年度美幌町パブリックコメント手続き条例の実施状況結果について 5 第5期美幌町自治推進委員会の調査審議について(案) 6 その他
会議の公開又は非公開の別	公開
非公開の理由 (会議を非公開とした場合)	-
傍聴人の数 (会議を公開した場合)	なし
会議資料の名称	【資料1】美幌町自治推進委員会について 【資料2】美幌町自治推進委員会の開催状況及び協議事項について 【資料3】美幌町自治基本条例制定後の現状と課題について 【資料4】令和元年度審議会等の会議の公開に関する運用状況について 【資料5】令和元年度美幌町パブリックコメント手続き条例の実施状況について 【資料6】第5期美幌町自治推進委員会の調査審議について 美幌町自治基本条例逐条解説
会議録の作成方針	<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した全部記録 <input type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
事務局(総務部長)	<p>皆さん、こんばんは。 本日は大変お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。 只今から、令和2年度第1回美幌町自治推進委員会を開催いたします。</p> <p>はじめに、町長より、自治推進委員をお引き受けくださいました皆様に、委嘱状の交付を行います。私が、お名前をお呼びいたしますので、その場でお受け取りください。</p> <p>(町長から順に委嘱状を交付)</p> <p>松本 光男 様 横山 直樹 様 坂本 美紗 様 山野寺秀紀 様 志布 純子 様 横関 恵子 様 加藤 春香 様 熊崎 崇朗 様 佐藤 潤 様</p> <p>本日、所用により欠席をされておりますが、佐々木洋太様を加えた10名により本委員会が構成されていることをご報告させていただきます。 それでは、ここで平野町長よりご挨拶を申し上げます。</p>
平野町長	<p>本日はお忙しい中、第5期となります第1回的美幌町自治推進委員会にご出席をいただき誠にありがとうございます。ただいま10名の皆様に美幌町自治推進委員の委嘱状を交付させていただきました。5名の委員の皆様には再任をさせていただき、5名の委員皆様には新たに委嘱をさせていただきました。</p> <p>皆様には自治推進委員をお引き受けいただいたことにお礼を申し上げますとともに2年間の任期となりますけどもどうぞよろしく願いいたします。</p> <p>さて、自治推進委員会の役割の基本となります自治基本条例について少しお話をさせていただきますと、美幌町自治基本条例はこの美幌町のまちづくりをどのようにしていくかのルールを定めているもので、他の町ではまちづくり基本条例というような名称にしているところもあるようです。美幌町では様々な論議があった訳ですが、まちづくりの定義も難しいということで自治基本条例という名前にさせていただきました。</p> <p>この条例は平成23年3月18日に制定させていただき、平成23年4月1日から施行したところであります。条例の制定前には策定委員会や基礎部会において1年以上をかけて条例のたたき台を作っていたところですが、短期間で作り上げたという経過もありまして、その時代に沿ったものに条例</p>

事務局（総務部長）	<p>を定期的に見直しすることを考え、自治推進委員会を組織することとしたところであります。</p> <p>自治推進委員会では、自治基本条例をどう推進していくか、どう見直しをかけていくか、時代にそぐわないものは直していただき、こうしたルールを含めたらどうだろうか、などを議論・協議をいただき、条例の付け足し、ルールの変更などをしていただき、この条例を育てていただきたいと存じます。委員の皆さんのお知恵をお借りしながら美幌町がこれからも皆様にとって住みやすい町になるようお力添えを賜りますようお願いいたしまして、簡単ではありますが私からの挨拶とさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>ここで新たに委員となられました方もいらっしゃいますので、委員の皆様より、自己紹介を兼ねまして、一言ご挨拶をお願いしたいと思います。</p>
松本委員	<p>松本です。自治会の連合会から選任されて参加させていただきました。</p> <p>本日こうやって顔を見ますと、私より若い方ばかりのようですが、これからもよろしく願いしたいと思います。私もこういう会議には参加したことがないので不安に思っておりますけれども、若い皆様方のお力を借りながら任期中頑張りたいと思います。よろしく願いします。</p>
横山委員	<p>横山直樹と申します。商工会議所から推薦を受けましてこの自治推進委員会に参加させていただきました。</p> <p>職業は横山コンクリートと申しまして、コンクリートの製品を造っている会社で、ちょうど東北の地震の前の年に社長になりまして十何年間務めております。</p> <p>ここにおります後藤さんに委員会の関係で実行委員長を仰せつかって仲良くさせていただいたこともありますし、微力ながら力になればと思っております。どうぞよろしく願いいたします。</p>
坂本委員	<p>美幌商工会議所青年部より参りました坂本と申します。私は東京で生まれまして、美幌に住み着いて早20年くらいになるのですが、美幌が好きであるというのがありますし、青年部の方でも色々町のことを考えながらより良くしていきたいと思っています。こういった形で参加させていただけることは大変嬉しく思っております。</p> <p>より良い町にして皆さんがまだまだ住みたいと思ってもらえるような町にしていきたいと思っておりますのでよろしく願いします。</p>
山野寺委員	<p>美幌町農協から参りました山野寺と申します。</p> <p>前期に続きまして2期目ということになりますが、農協の立場と長く町民もやっておりますので、町民の立場として何かご意見ができたらと思っております。</p> <p>今後ともよろしく願いします。</p>
志布委員	<p>美幌町男女共同参画プランから参りました志布純子と申します。どうぞよろしく願いします。</p> <p>私も2期目なのですが、まちづくりの事ということで難しかったのですけれど</p>

<p>横関委員</p>	<p>も、私の年齢で高齢期を迎えてきたということで、住み続けて良かったなという町にして、自分も楽しめてこれからの若い人達にとってもやっぱり美幌が良いなと思える町にできて、気持ちよく住める町にできたら良いなと思って参加させていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。</p> <p>美幌町ボランティア連絡協議会からの推薦で参加させていただきました横関恵子と申します。</p> <p>夫が転勤族ということもあったのですが、平成4年に美幌町に家建ててそれからずっと美幌にいますので、子供達も例えばニュージーランドに町の補助をいただいて行かせてもらったり、色々な経験ができました。</p> <p>私たちも色々な活動をさせていただいて、これからも住みよい美幌町になったら良いなと思って参加させていただいております。よろしくお願いいたします。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>加藤春香と申します。しゃきつとの入り口をお借りして運営させていただいております。NPO 法人えくぼ福祉会の方から参りました。</p> <p>普段の仕事は、障がいを持った方の職業支援をしているのですが、仕事と、あと、ちょうど子供が3人おまして子育て真っ最中なのですが、何かお力添えできる事があればと思って今回も参加させていただきました。前回参加させていただいて分からないまま終わったという事もありますので、また勉強させていただきたいと思っています。よろしくお願いします。</p>
<p>熊崎委員</p>	<p>熊崎崇朗と申します。美幌町大通北1丁目商店街もりぐんての代表をしております。</p> <p>僕が美幌に戻ってきたのは5年前で、その時に自治推進委員会にお誘いいただいて、まだ美幌に戻ってきて右も左も分からない状態で美幌町のまちづくりとは何なのかというところを自治基本条例を基に何とかこういうことをやっているんだなというところから学ばせていただいた感覚が今でもあります。</p> <p>今回で3期目になるのですが、2期目の時にはコロナウイルスが挟まってきたこともありまして、いま自分の中でも何がどう風にもこの条例をもとに進んでいけるのかということが分からなかった事もありましたので、今回3期目を通して、これだけ世代も性別もたくさんいるメンバーですから、色々な角度から色々な意見を出し合って最終的にはこの町に住むことが最高なんだと町民1人1人が思えるような町にしていければと思っておりますので、どうぞよろしくお願いします。</p>
<p>佐藤委員</p>	<p>アメニティ美幌居宅介護支援事業所から参りました佐藤潤と申します。職種としては、介護支援専門員ということで介護保険ですとか高齢者福祉に専門的に関わっている立場でございます。そのような10年以上の経験はあるのですが、まちづくりという大きなテーマに対して微力ながら私の力がお役にたてればと思います。また、私美幌町民ではなく北見市から通勤で通っている状況です。ただ、それは別の意味で言いますと北見市の情勢とか取組、そういう事もひとつとしたり参考にしていただけるかもしれませんので、そういう意味でも皆さんのお役に立てればと思っております。よろしくお願いします。</p>

事務局(総務部長)	<p>続きまして事務局を紹介させていただきます。</p> <p>(順に紹介)</p> <p>小室総務部長 後藤政策主幹 中村政策担当主査 赤川政策担当主事</p> <p>以上、事務局4名で皆様の調査・審議をしっかりサポートして参りたいと思いますので、よろしくをお願いします。</p> <p>それでは、議事に入る前に本委員会会長及び副会長の選任を行いたいと思います。選出に当たりましては、美幌町附属機関に関する条例第7条の規定により、会長及び副会長は委員の皆様が互選することになっております。委員の皆様の中で自薦、あるいは他薦がございましたら発言をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。</p> <p>特になければ、事務局で案を持ってきておりますが、事務局の案をお示しさせていただきますてもよろしいでしょうか。</p> <p>一同了</p> <p>それでは、事務局の案ですが、会長には、熊崎様、副会長には、横山様、お二方をお願いしたいと思います。皆様よろしいでしょうか。</p> <p>一同了</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、会長と副会長が決まりましたので、ここで、お二人にご挨拶をいただきたいと思っております。</p> <p>初めに、熊崎会長よろしくお願ひいたします。</p>
熊崎会長	<p>会長を仰せつかりました熊崎と申します。改めてよろしくお願ひいたします。</p>
事務局(総務部長)	<p>続きまして横山副会長よろしくをお願いします。</p>
横山副会長	<p>青年会議所で相当こういった会議はやっているのですけれども、本当に久しぶりで、また改めてまちづくりに携われることが出来て嬉しく思っております。皆様の</p>

事務局（総務部長）	<p>お力をいただきまして会の運営を進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、美幌町附属機関に関する条例第8条の規定により、会長が議長となることとなっておりますので、これからの議事進行につきましては熊崎会長へお渡しいたしますが、その前に1点ご報告させていただきます。</p> <p>この会議につきましては、「美幌町審議会等の会議の公開に関する条例」第3条の規定によりまして公開されることになっております。ただし、美幌町情報公開条例に定める非公開情報ですとか、会議を公開することにより、公正かつ円滑な会議運営に著しく支障が生ずると認められる場合につきましては会議の全部又は一部を公開しないものとします。なお、会議終了後、速やかに会議録を作成することになりますが、会議録の公開につきましては、その写しと会議の資料を情報コーナーと執務室において、会議を開催した日の属する年度の翌年度末日まで閲覧をさせていただきますので、ご承知おき願いたいと思っております。</p> <p>それでは、熊崎会長、よろしくお願いいたします。</p>
熊崎会長	<p>それでは、早速ですが議題に沿って進めていきたいと思っております。</p> <p>議題の1つ目、美幌町自治推進委員会について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局（政策主幹）	<p>それでは、私の方からご説明させていただきたいと思っておりますが、今期の委員さんにつきましては、1期目の方が5名、2期目の方が4名、3期目の方が1名ということで、1期目の方が半数を占めておりますので、本日は基本的な部分のご説明を中心にさせていただきますと思っております。2期目、3期目の委員さんにつきましては、承知している内容となりますが、再度確認の意味も含めましてお聞きいただければと思っております。</p> <p>《資料1「美幌町自治推進委員会について」・資料2「美幌町自治推進委員会の開催状況及び協議事項について」を説明》</p>
熊崎会長	<p>事務局から説明がありましたが、何かご質問はありませんか</p> <p>一同無し</p> <p>次に議題の2つ目ですが、美幌町自治基本条例制定後の現状と課題について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局（政策主幹）	<p>《資料3「美幌町自治基本条例制定後の現状と課題について」を説明》</p>
熊崎会長	<p>何かご質問はありませんか</p>

	<p>一同無し</p>
熊崎会長	<p>次に議題の3つ目、令和元年度審議会等の会議の公開に関する運用状況について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局（政策主幹）	<p>《資料4「令和元年度審議会等の会議の公開に関する運用状況について」を説明》</p>
熊崎会長	<p>何かご質問やご意見はありませんか</p> <p>一同無し</p>
	<p>無いようですので、次に議題の4つ目、令和元年度美幌町パブリックコメント手続条例の実施状況について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局（政策主幹）	<p>《資料5「令和元年度美幌町パブリックコメント手続条例の実施状況について」を説明》</p>
熊崎会長	<p>何かご質問やご意見はありませんか</p> <p>一同無し</p>
	<p>無いようですので、次に議題の5つ目、第5期美幌町自治推進委員会の調査審議について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局（政策主幹）	<p>《資料6「第5期美幌町自治推進委員会の調査審議について」を説明》</p>
熊崎会長	<p>何かご質問はありませんか</p> <p>一同無し</p>
	<p>以上で、議事進行上の5つの項目につきましての説明は終わりました。 ここからトータルで見た上でも結構ですので、こんなこと気になったとか、こんなやり方だったら良いのかなとかそういった事も含めて本日はざっくばらんな意見交換ができればと思っております。</p>
横関委員	<p>意見の公募ってあったんですね。自分も美幌町の事について関心を持っていなかったんだなと思いました。</p>
熊崎委員	<p>パブリックコメントの資料の5で、1から5までパブリックコメントの募集はしているということなんですね。</p>

事務局（政策主幹）	<p>はい。昨年度はこの5件を行っております。</p> <p>役場庁舎やパークゴルフ場建設など興味のある案件については、意見の件数があります。</p> <p>興味を持たれている案件は来るのですが、その他の案件にも興味を持っていたできるように何かしら行政としても取り組んでいかなければと思っています。</p>
熊崎会長	<p>パブリックコメントの募集はどういった形でやっているのでしょうか</p>
事務局（政策主幹）	<p>基本的にはホームページと広報、タイミングが合えば美幌新聞や伝書鳩に掲載もしてもらっています。</p>
事務局（総務部長）	<p>なかなか計画物については興味関心を持っていただくのが難しく、以前からこういった計画を策定する際のパブリックコメントでは意見をいただけないという状況が続いています。ただ、施設を建てるとか、そういった時にはやはり興味関心を持たれている方もおりますので、数件ですが必ず意見が出ているという状況です。</p>
横山副会長	<p>パブリックコメントは匿名でも良いんですか</p>
事務局（政策主幹）	<p>匿名は駄目です。匿名でやると意見が出やすいのかもしれないのですが、全国的にも匿名でやっているところはおそらく無いと思います。出す以上は、名前を書いていただいてということです。</p> <p>アンケート調査とか住民満足度調査をやった時は、匿名の自由記載欄などを設けておくと、相当数意見が出てきます。</p>
熊崎会長	<p>匿名であるかどうかということも勿論そうですが、それ以前にその情報に対してパブリックコメントで意見を言えるということがあまり知られていないのかなという気がしたりするのですが、実際、広報とかでもあったというのは知っていらっしゃいましたか。</p>
志布委員	<p>見たことはあるような気はするのですが、パブリックコメントにどういう風に言って良いのか、表現の仕方ですか。アンケートとかだったら具体的な項目があって、そこにどう思うとか必要だとか必要でないとか、回答することはできると思うのですが、パブリックコメントって私たちの言葉でどう伝えて良いのか。</p> <p>以前トレーニングセンターのところに置いてあったのを見たことがあったのですが、これに回答するのはちょっと難しいなという感じの回答の方法というか、取っつきにくいと言ったらおかしいですけども。それに対してアンケートみたいなので記入したりするのは、やりやすいと思うんですけども。質問のされ方とか、一つひとつ今みたいに説明されるとあっという事かとか、その時感じた事をお話することは女の人は得意だけど、何か言いにくいというのものもあるかもしれませんね。</p>

事務局（政策主幹）	<p>パブリックコメントは、計画書案や概要などを作って、皆さんに見てもらって、そして意見を出してくださいという制度ですから、アンケートとはまたちょっと違いますよね。</p> <p>意見を聞く方法という部分ではパブコメ以外にもやっています。こういった会議も町民参加ということで意見を聞く場になります。意見を聞く場は設けているのですが、一番大事なのはその前に情報を発信するというので、そして行政、議会、町民が情報を共有するという事が大事です。</p> <p>今回一つお聞きしたかったのは、コロナ禍の中で、役場から町民の皆さんにどういった風に情報が流れていたのかとか、そういった部分については今後検証が必要なのかと考えておりますので、何か参考になるご意見とかあれば、お願いします。</p>
志布委員	<p>直ぐに大きなチラシで色々書いてあるのが来ましたよね。あれがサッと入ったので、テレビの世界だけでなく地元もそうなんだなと。密にならないように、消毒してとかマスクしてとか細かく書いてあったから、直ぐ対応されていたと思います。</p>
熊崎会長	<p>コロナに関して言えば、商工なんかの部分で助成金の交付の情報伝達とかもあったと思うんですけども、坂本さんとかはわりと直ぐに、あれは商工会議所からでしょうか。</p>
坂本委員	<p>会議所の会員になっていれば情報は直ぐ来るのでそれに対しては困りませんでした。分からないことはまた会議所に行けば、会議所で対応してくれるしハードルは低いというか、手続きが分からないとかそういうのは無かったです。</p>
熊崎会長	<p>事業者の最初の段階で、売り上げの15%でしたかね、減少した時に出る補助金があるよと。それは商工会議所に加盟しているしていないは関係なく町内の事業者全体にという事だったんですけども、そのことの情報というのがどのくらい行き届いていたのかなというところが僕は結構ドキドキする部分があって。</p>
坂本委員	<p>申請していない人が結構いて。</p>
熊崎会長	<p>最初のアンケートが来たのですが、どんな助成が良いですか、どんな現状ですかというアンケートが来てたんですよ。書いて返したんですけど、あれは商工会議所会員だけに配っていたんですかね。</p>
事務局（総務部長）	<p>アンケートは、確か会議所の会員だけだと。</p> <p>ただ、今回町で色々コロナの関係で経済対策を打ちましたけれども、あれについては会議所さんにも理解、協力いただいて会員の事業主さん以外、非会員の皆さんにもきちっとお知らせはしてくれてます。</p>
熊崎会長	<p>あの時にすごく感じていたのが、アンケートがただ来たんですよ。こんな状況だと</p>

事務局（総務部長）	<p>返信はしたのですが、後で聞いたら回収率が凄く悪かったと聞いたんですね。アンケートが殆ど返ってこなかったという話をしている。確かに返ってこなかったら、今度どういう状況なのかという事を踏まえて、行政の補助なりという形も取りづらいたらと思うので回収率をもっと増やした方が良いのと思うので思いました。できることなら、何のためのアンケートなのかというのが商工会議所側から来ればみんなアンケートを返していたような気がするんですよ。何のためにこれを知っているんだという部分があれば受ける側の意識の問題としては変わるのではないかと思います。</p> <p>今回、本当にコロナ対策で今まで想定していない事が続いたのですが、今会長がおっしゃったとおり、事業主の皆さんが、今どういう状況におかれていて、何を求めているのか、何が必要なのかという事を探りて始めたんですね。ですから今お話があったアンケートなんかも本当はもう少しやり方を工夫して、より多くの皆さんから生の声を吸い上げた方がしっかりと町としても対策を打てるんだと思うんですよ。そういう意味では非常に反省は多かったのですけれども、ただ、今回分かったこともあったんです。どういう工夫が必要かというのは、色々勉強になりましたので、こういうコロナみたいなことは二度と経験はしたくないのですけれども、次に同じような事が起きた場合はもう少ししっかり出来るかなと、勉強にはなりました。</p>
横関委員	<p>けど、10万円の給付金の美幌町の対策って他の町村より手続も簡単だし、それは良かったと思います。あと今回も入ったけど、1件1件別便というか配ってましたよね。広報に入ったりとか、回覧で回しても、やっぱり見てないんですよ。けど今回のように入ってきたら見ますよね。一人一人にどうやって伝えるかというのがなかなか難しいと思います。皆に伝えるにはその都度その都度ああやって全町民に配るとするのはちょっと無理があるけれど、でもあれが一番伝わりやすい方法だなと思いました。</p> <p>自分で興味を持って見つければ良いのですけれども、なかなかできないから、ああいう風にそれだけだとなんだろうと絶対見るから良かったと思います。</p>
事務局（総務部長）	<p>10万円の給付の話は、どういうやり方が良いのかは職員の中で大分話し合いました。例えば口座振替については希望するってなれば情報を持っていますので、わざわざ口座番号を書かなくても良くしたんですね。あれをやっている町は少なく、いちいち全部書かないと認めていないところが多いのですよね。そういうところでは工夫はできたのではとっております。</p>
平野町長	<p>今回スピードが要求されるという中でどう判断するかというのが、非常に私としては背中が重かったですね。</p> <p>今何をしなければいけないのか、例えばアンケートを取ってゆっくりもできるのですけれども、アンケートを短時間で回収できるかという、そこまでの気持ちになっていただけるかどうかということなんですよ。私は、商工会議所でやってくれたアンケートの集計結果を貰ったのですが、集計結果は要らないので回答を全部貰って自分で分析しました。分析というのは、どういう事が書いているかが大事で、そ</p>

<p>事務局（政策主幹）</p>	<p>れとは別に業種毎で大変なところをピンポイントで一覧表を2ページくらい作って今の状況を確認して、まずは何をやるかという判断をさせてもらいました。そういった中でいけば、うちのスタッフを褒める訳ではないのですが、判断は早かったですね。嬉しかったというのは、今総務部長が言った10万円の給付は、これは私は自慢できるかなと。逆に自慢というより、これが当たり前かなというのが正解かもしれない。他の町が何でうちみたいな事をやらないのかなというのが本音で、皆さん褒めてくれるけど、これで標準だという認識です。</p> <p>それから、これもスタッフに感謝しているのは、どうやって皆さんに伝えるかという緊迫感というか、何とかしたいという時はやっぱり広報とかホームページは見えないんですよ。そこでスタッフの方から1人ずつ配ろうということで。そして配る時にはただ入れてくるのだったら辞めようと言って、皆で、何で配るのかという事を意思統一して、人が居たらこういう事で配ってますとできるだけ声をかけてくださいという事でやらせていただきました。前段3回やって、つい最近やったのは、ステージ2に上がった時に何も変わらないみたいになった時に、違うよねという話で、そういう緊張感をどうするかと言った時に、私は入院していたのですが、ズームで会議をやった時にスタッフがこれは自ら自分達がきちんと伝えなければいけないという事で。私どもで言えば9,000世帯を70人位で皆で配ったのですが、初めは4時間半とかかかりましたが、慣れてきて、それでも農村地区も車で行って入れて来るのでそれでも4時間位かかっています。これはやらなきゃいけない事だと思っています。特別な事という気持ちは私もスタッフも思っています。ただ、何かあったときは、これは機動力でできるのが私たちのプライドとして持っているので、しっかり伝えたいと思っています。</p> <p>あと、失敗をしたという訳でないですけども、事業主の方々に支援する時に減少率を幾らにしたら良いかと非常に悩みましたね。あの時、国は50%と言っていたんですね。そんな50%なんてあるのという話をされた時にどうしようかと。結果30%と15%としたけど、それでも皆さんそこまでいっていないと。一部の業種はあったのですが。あの辺がどうだったかというのは、皆さんこれから検証してくれて、良い悪いではなくてそこら辺を今度判断するときに自分はどういう風にリサーチするかというのが課題かなと。これはスタッフも皆感じております。</p> <p>あと、情報は皆で手分けして収集して、それは総務部長当たりが全部見て、どの町がどんな事をやっているのかとか、比較ではないけど、美幌として何をやるかと。</p> <p>私は、本当に大変な時期でもあるのだけれども今の時期に町長にさせていただいて、うちのスタッフに感謝しております。ちょっと自分のスタッフの自慢を言ってしまってすいません。本当に頑張っていると思います。でも、これからもまだまだ頑張らなきゃいけないのですけれども。</p> <p>情報発信の一つですけれども、UHBの地デジ広報というものも今年度から取り入れております。</p> <p>2020年の9月現在で北海道179市町村のうちまだ20市町村だけしかやっていなくて、オホーツク管内ではまだ美幌町だけということで、インターネットが苦手な高齢者ですとかUHBを見れば情報が入ってきますので、これをもっと宣伝して活用して頂けるようにしていくのと、もう一つ、A4の一枚物のチラシ</p>
------------------	---

	<p>ですが、これも情報が発信されますし、あと、ラインで美幌町で公式のアカウントを取りまして、ラインの方でも情報を発信していております。抜け道が無いような取り組みといたしますか、広報誌、ホームページ、地デジ広報、ライン、フェイスブックですとか様々な方法で情報を発信できればと考えています。とにかく情報発信、情報共有の部分、一番大事な部分を今後もしっかり進めて行きたいと考えております。</p>
熊崎会長	もう始まっていたんですね。
事務局（政策主幹）	今年の4月から開始しています。
横関委員	<p>まち育講座もここからできたんですね。</p> <p>今回うちの自治会でゴミの分別の事についてお話をさせていただいたのですけれども、やっぱりお話を聞くと自分たちの出し方をちゃんとしようってみんな思ってくれたので、良いかなと思います。さっき聞いたら講座メニューが100件っていないということですので、もっとたくさんあれば良いかなと思っています。</p>
事務局（政策主幹）	当初は、60くらいしかメニューが無かったのですが、年々増やしていきました。飽きられないようにメニューを増やしていきたいと考えております。
佐藤委員	地デジ広報は、自治体に対して基本使用料月額3万円がかかるということですか。
事務局（政策主幹）	自治体に対してです。
佐藤委員	<p>資料3の部分なのですが、現職で介護支援に携わっているものですから、この社会情勢の変化、少子高齢化についてということで、現状のままで地域社会が成り立つのでしょうかという部分が本当に深刻な状況になっております。</p> <p>具体的には、美幌町内介護サービスはあまり多くはない地域なんですけど、私は、在宅に訪問して、サービスを提供するその調整役という立場になるのですが、サービスを利用したいという依頼があった時にサービス自体が今もう枯渇していて、訪問介護というヘルパーさんがいる事業所が生活援助、家事とか入浴介助を依頼するのですが、空きが無いので対応できない。今、訪問介護と通所サービスについては空きがない状況で、新規で依頼を受けてケアマネージャーの担当となってもデイサービス週1回お願いしたいとか、お部屋の掃除して欲しいとか言われたとしても調整できない。更に今年に入っては各事業所に待機者が出てくる状況になってきている。介護保険サービスだけではなく保険外のサービス、生活たすけあいサービスさくらんぼさんとか、ナルクさんですとかそういうところに問合せしたいりするのですが、なかなか専門的な対応が出来なかったりとか、非常に苦慮している状況が続いております。</p> <p>これは、今後美幌町の社会福祉としては大変な課題かなと思います。介護保険担当の主幹、主査の方にも陳情させていただいた経過もあるのですが、どう良い方向に進められるのかというところで、単独の事業所は人手不足というのも</p>

	<p>ありますが、当然募集もかけているのですが、退職する方に対して入職する方の割合が多くはないというところで、尚且つ反比例するように要介護高齢者が増えているという状況なんですね。非常に将来的に考えた時に各事業所単位では解決が難しいということで、町も一緒に考えて、お困りになる方が少しでも少なくなればという風に考えてまして、悩みを伝えて申し訳ないのですが。</p> <p>一例として色々な病状の方がいますが、末期の方ということで余命があったとして、退院して、少しの期間在宅で暮らします。ただそこに訪問介護ですとかヘルパーさんですとか訪問診療ですとか、連携を図らなければ安心した在宅制度に繋がらない。なかなかサービス自体が調整できない。</p> <p>全国的にも介護離職ということも出てきていますが、それは介護サービスが利用できない場合に、家族が介護に携わるということで、仕事をしなければいけないけれども、親の介護のために仕事を退職しなければならない状況で、ネガティブな状況になっているのは確かです。</p>
熊崎会長	<p>少子高齢化という問題、先ほど今の現時点での出生数が36人と言っておりましたが。</p>
事務局（政策主幹）	<p>担当者からは現在36名と聞いております。</p> <p>社会人口問題研究所が推計で出している数値では、2040年には美幌町の人口は、12,000人になると推計していて、それを、まち・ひと・しごと創生総合戦略において、対策を取って美幌町は14,500人に抑えますよという計画を立てているのですが、推計どおり毎年300人近くが減っていている状況です。</p>
熊崎会長	<p>因みに12,000人になった時に高齢者の割合はどれくらいの比率になるのですか</p>
事務局(政策担当主査)	<p>先程の表でいくと、平成27年で高齢人口が6,533人、そして生産年齢人口11,374人、これが、先ほどの高齢者を何人で支えるかという部分でも、既に全国的な平均からみても美幌町は割合が高いということがここで分かります。2040年には、ほぼここがくつつくという状況になるので1対1となります。</p>
坂本委員	<p>産まれていないのは、コロナの影響もあるのでしょうかね。</p>
平野町長	<p>それもあるかもしれませんが、自然減でしょうかね。私の周りでもよく言われるのは環境が良ければ皆さんお子さんに恵まれるのであればたくさん欲しいという方が多いんですよ。ただ、将来に向けてどうするんだという話になると、なかなかそこに踏み切れないのが現実かと思えます。行政がしっかり育てられるような環境をどうするかを真剣に考えないといけないかと。お子さんが産まれる数が少ない反面、これからそれをどう社会の中で巻き込んで、安心して基本的には兄弟がたくさんいた方が良いのかなと思われる方が多い部分をどうフォローしてやっていくのか皆さんと知恵を出していかなければ駄目なのかなという気がしますね。今回、コ</p>

<p>加藤委員</p>	<p>ナ禍では、先に対する不安があるから、なかなかどうしようというのはあるかもしれませんがね。</p> <p>私は、人数どうのこうのと思って産んだわけではないですが、産んでみてやっぱりこの先どうしようっていうのが日々ですよ。今回美幌の高校も間口が減るとい話が出たりとか、実際アンケートとかもいただきましたけども、親の思いと子供の思いが一致することはあまり無いと思うので、町内に残って大人になってもここに住んでっていう風に子供に思ってもらえるか親としても自信の無いところですね。あと経済事情がやっぱり大きく関係するかなと思うんですけど、美幌に住んで15年位になりますが、民間のアパートの家賃の高さが驚きますよね。そういった面で考えると月給も少ないですし、家賃も高いですし、若い人からみるとそういう家計の負担があると人数も限られるのではないのでしょうか。</p>
<p>佐藤委員</p>	<p>先ほどネガティブな状況をお伝えしましたが、確かに現状深刻な問題で待ったなしの状況だと個人的にも我々関係者も思っているところですが、半面、健康寿命が延びている方もいて70代、80代でもお元気で働いている方も確かにいらっしゃいますし、介護予防に取り組みながら高齢になってもお元気に働き手として入っていただいたり、あとは向こう三軒両隣とは昔言いましたけども、そういう部分は、我々が仲介になって関係性を築けるような取り組みも実際しておりますので、希望の持てる対応を、どんどん増やしていきたいなと思っているところもあります。</p>
<p>事務局（政策主幹）</p>	<p>福祉の分野は、昔から美幌町も様々なボランティア団体が活動してきておりまして、ただ、課題としてはボランティアのメンバーの高齢化という部分が挙げられおりますが、自治基本条例の中で協働のことが掲げられておりますが、例えばボランティア団体と行政が協働してとかボランティア団体とか民間団体が協働して何かをやるとか、そういったものが作り上げていければこういった社会情勢の中でも何とかまちづくりを進めていけるのかなと、そういう議論が起きてくるのかと思います。</p>
<p>熊崎会長</p>	<p>その他、何かありませんか</p>
<p>山野寺委員</p>	<p>2期目ということで前期も、なかなか議題が重くて頭が付いていかないという部分もあるので、今回は8回予定されているということで、毎回、会の進め方を今日は何を決めなきゃいけないのかをはっきり示して頂いて、それに向かって皆さんが意見しやすいような会の進め方をしていただけたらありがたいなと思います。</p> <p>なかなか分からないことだらけなので何を話したら良いのか分からない方が私も含めていらっしゃるんでないかと思うのですが、決めなきゃいけないことを具体的に示していただいて、それに対して意見を聞くという会議の進め方をしていただけるとありがたいなと思います。</p>
<p>熊崎会長</p>	<p>次回以降具体的な審議が進んでいくと思うのですがけれども、その時には今山野寺さんがおっしゃったみたいに今日はこれに向かってという中で、皆さんで多少</p>

事務局（政策主幹）	<p>外れそうだなと思ったら直していきますので、肩の力を抜きながら、でもまた自分の年代や立っている位置なんかで、自分はこう思いますという意見をお互いに言い合っってそれを皆さんで受け止め合っってそこからまた何かが生まれていくようなそんな感じの会議にしていけたらいいなと思いますので、よろしくお願いします。</p> <p>議題の最後、その他ということで事務局から何かありますか</p> <p>今、山野寺委員からもありましたとおり、次回からしっかりと段階を追って提言書作成に向けて進めていくということで、本日はまずこの自治基本条例を知っていただくということでご説明をさせていただきました。</p> <p>2月の中旬から下旬開催を目途に次回の日程調整をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p>
熊崎会長	<p>皆様、長時間に渡りましてありがとうございました。</p> <p>次回またよろしくどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>終了</p>